

一年間のふりかえり 穂波東保育所 令和8年3月		
1	運営管理	職員間の連携を密にとりながら、飯塚市の教育・保育理念、教育・保育方針、教育・保育目標を達成するよう努めました。
2	守秘義務	保育業務の中で知り得た秘密情報については、全職員に守秘義務の徹底を図りました。
3	安全 危機管理	毎月の防災訓練(火事・地震・水害・不審者対応など)を実施し、研修や職員会議などで危機管理意識を高め合うことができました。また、保育中にケガが生じた場合は保護者に経緯や対応を説明し、職員会議等で反省及び保育の見直しを行うとともに環境の改善を図りました。園舎の不具合が生じた場合や修理箇所等については保育課や業者等と連携し、安全の確保を図りました。子どもの安全確保のために、避難経路の見直しを行ったり、避難用の門を設置しました。園外保育においては散歩の目的地の下見と見直しを行い、事故防止に努めました。
4	保育環境	子どもたちが心地よく過ごせるよう保育所内の清掃を常に心がけ、また、活動に合わせて室内の温度、換気、照明等保育環境の整備に配慮しました。子どもの活動、動線などを考え、おもちゃ棚などの配置に配慮しました。
5	健康 衛生管理	行事等においては部屋の広さから、人数制限をし、感染症のリスク軽減にも配慮しました。また、子どもたち一人一人の健康状態を把握し、その子の体調に合わせた保育に取り組みました。更に、健康診断により子どもの健康状況を保護者と共有しました。インフルエンザやその他の感染症が拡大した時は、各クラスや送迎口などにて感染状況を掲示し、注意喚起を行いました。
6	保育内容	「子どもの人権」に配慮し、一人一人を大切にしながら年齢と発達段階に応じた保育を実践しました。基本的な生活習慣については家庭と連携を取り、子どもの状況に応じて対応しました。
7	食育	食の大切さを知るために、5歳は、夏野菜を栽培したり、生活体験学校でサツマイモの収穫を体験したりして、収穫の楽しさを味わいました。また、収穫した野菜を食べることにより食への関心を高めることができました。さらに、5歳は、生活体験学校で収穫したサツマイモでスイートポテトを作り、調理する楽しさも味わいました。
8	子育て支援	保護者とのコミュニケーションを大切にすることを心掛け、対応に偏りがないようにしました。子育ての悩みや不安等の相談に対応し、話し合いを行いました。今後、一層、子どもたちが健全に育っていくよう意思疎通を図っていきます。
9	地域交流	公開保育の申し込みがあった際には、受け入れを行いました。(8 件) 見学については、見学日数を増やし、見学できる機会を多くとることで入所申し込みや一時預かりの利用者が増えました。園舎内の案内と併せて、質問に答えていきました。 地域交流は年長児の絵の作品出展を行いました。また、つばき苑にて子どもと高齢者との交流会を行いました。看護実習生の受け入れも行いました。
10	苦情報告	色々なご意見ご要望はありましたが、その都度真摯に受け止め、改善を図りました。第三者委員にいくような苦情等はありませんでした。来年度も苦情につながらないよう、職員一同人権に配慮した保育を行っていきます。
外部評価		
<p>【総評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平恒・楽市保育所統合2年目となり、園の運営や子育て支援においても円滑に行われている点は評価できる。 <p>【子どもの発達援助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育支援事業では感覚統合リトミックや運動遊びを通じ、身体感覚の一連の成果が見られた。特に具体的な動作指示や視覚的支援が子どもの情緒安定とルール理解に寄与している。 <p>【子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開保育や園見学で入所や一時預かりの利用拡大につながったことは大いに評価できる。今後公開保育等で育児相談の窓口になるようつなげていってほしい。 <p>【安全・事故防止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怪我への対応等、職員で情報共有し、保育の見直しと環境改善を実践した点は評価できる。ヒヤリハットなど常に職員間での情報共有を行い、事故防止につなげてほしい。 ・年間を通じ、防災・衛生管理や食育活動が計画的に実践されて安全な保育環境が維持された点は高く評価できる。 ・保育室の入り口には子ども達の健康状態（感染症の発生状況）を周知し、注意喚起を行う事は保護者に伝わりやすいため評価できる。 <p>※感覚統合リトミック</p> <p>子ども達が自分の体を知り、思い通りに動かすことができるようになることで、普段の生活や遊びにおいて十分に自分の能力を発揮することができることを目的に取り組んでいる運動遊び。</p> <p style="text-align: center;">第三者委員(松岡えりこ・田辺妙子)</p>		